

# 留学体験レポート

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21016068  
高橋美帆

私は、9月5日から12月28日までの約4か月間、韓国へ留学してきました。知らない土地、しかも言語も文化も違う外国で暮らすという初めての経験は本当に有意義なものでした。もちろん生活する中で、身の回りの物がすべて韓国語で、言葉が通じなかったり、寄宿舎の問題や食生活の違い、どこでもwifiが使えるわけではなかったりと不便なことは沢山ありました。しかし、今思うとその不自由だった生活も含めてすべてが新しく良い体験だったなと感じています。そのような韓国留学の中で特に記憶に残っている体験を3つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、韓国語の学習についてです。慶熙大学では、9時から13時まで4時限の韓国語の授業があり、14時から16時まで歌や映画などの文化の授業があります。当たり前ですが、先生は全て韓国人で、韓国語で韓国語を学び、韓国語で韓国語の歌や映画などの文化を学びます。このような1日の授業を月曜日から金曜日までみっちり勉強します。そして、9月後半からの3週間の秋学期では様々な国の人とのクラスになり、クラス内での共通言語も韓国語になります。慶熙大学で学ぶ初級2は、店での注文方法や道案内や友達と会話する時に使う表現など、実際に韓国で生活するうえで必要な表現ばかりです。しかも、韓国にいるわけですから、学んだことを実践する機会が多いため、身につくスピードが本当に早いです。私も想像してなかったのですが、帰国する頃になると、銀行や郵便局でも普通に韓国語で会話できるようになりました。たった4か月ですが韓国語の上達には期待できると思います。

二つ目は、トウミです。慶熙大学では、留学生に一人ずつ韓国人の大学生が付き、韓国語や生活の助けになってくれる制度があります。私のトウミは大学院生のお姉さんでした。学校外で会い、一緒に食事をしたり買い物したり、色々なところに連れて行ってくれました。学習面でも電話でspeakingの練習をしてくれたり本当にお世話になりました。韓国人と日常会話をする事で韓国語の上達にもつながりますし、やはり学校では学ぶことのできない若者言葉や文化、韓国人の大学生の生活を感じることができました。

三つ目は、ミュージカルを観に行ったことです。私の好きな芸能人が出演するミュージカルがちょうど留学中にあったので、自分でチケットを取り一人で観に行きました。日本でもミュージカルを直接見たことが無かったので、生の演奏と生の演技と生の歌声が目の前で繰り広げられ、感銘を受けました。まだ韓国語が未熟だったため、セリフを半分ほどしか理解できなかったのが唯一惜しかったのですが、それでも十分楽しめて非常に良かった

です。今後留学を考えてる皆様にはぜひ、学校やトウミ以外でも、自分から何か興味のあることを見つけて躊躇せずにとんどん積極的に新しい体験をすることをお勧めします。

最後に、この4か月間共に過ごした韓国語コースの国情性にみんなや関わってくださった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。